

## 那珂市議会原子力安全対策常任委員会記録

開催日時 令和6年3月25日(月)午前10時

開催場所 那珂市議会全員協議会室

出席委員 委員長 小宅 清史 副委員長 花島 進  
委員 笹島 猛 委員 萩谷 俊行  
委員 渡邊 勝巳 委員 原田 悠嗣

欠席委員 なし

職務のため出席した者の職氏名

議長 木野 広宣 事務局長 会沢 義範  
次長 秋山雄一郎 次長補佐 岡本奈織美

会議事件説明のため出席した者の職氏名(なし)

会議に付した事件

(1) 委員会の今後の進め方について

…今期委員会について協議

議事の経過(出席者の発言内容は以下のとおり)

開会(午前10時00分)

委員長 おはようございます。

このたび、委員長に就任させていただきました小宅でございます。

これから2年間、このメンバーで進めていきますので、自由闊達かつ冷静な議論を皆さん心がけていただきますようよろしくお願いいたします。

開会前にご連絡いたします。

本日は換気のため廊下側のドアを開放して常任委員会を行います。

ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

会議は公開しており、傍聴可能といたします。また、会議の映像を庁舎内のテレビに放送いたします。会議内での発言は必ずマイクを使用し、質疑、答弁の際は、簡潔かつ明瞭にお願いいたします。

携帯電話をお持ちの方は電源を切りいただくかマナーモードにするなどご配慮をお願いいたします。

ただいまの出席委員は6名であります。

定足数に達しておりますので、これより原子力安全対策常任委員会を開催いたします。

職務のため、議長及び議会事務局職員が出席しております。

ここで議長よりご挨拶をお願いいたします。

議長 改めましておはようございます。

先ほど委員長からございましたけども、小宅委員長、花島副委員長のもと、この2年間、この原子力安全対策常任委員会がしっかりとですね、活発な意見を出し合ってくださいますようよろしくお願いいたします。

また本日は今後の委員会の進め方ということなものですから、皆様からの活発な意見をちょうだいしたいと思います。どうかよろしく願いいたします。

以上、簡単でございますが挨拶に代えさせていただきます。

どうぞよろしくお願い致します。

委員長 本委員会の会議事件は別紙会議次第のとおりであります。

これより議事に入ります。

1番、委員会の今後の進め方についてを議題といたします。

今後の予定ですが、まず5月に原子力事業所4社からの年間事業計画の説明をしていただく予定になっております。

日時等はまだ決まっておられませんので決まり次第、皆様にご報告いたします。

その後、委員会をどのように進めていくか。

皆様のご意見をお伺いいたします。

副委員長 ご存じと思うんですが、東海第二原発に関わる問題が1番重要な、かつ大きな問題だと思ってます。

東海第二原発は、一応日本原電は、9月に試運転したいと言ってます。ですが、いろんな諸条件がありまして、一つは、広域避難計画が十分出来てない。あるいは出来てると言っているところでも、実際に何かあったときに本当に避難できるかって言ったら、非常に危うい状態になってます。

那珂市について言えば、広域避難計画をつくる努力は執行部がやっていますが、出来たとと言える段階にない。

特に、避難先についてまず筑西市、桜川市、両市に当初避難するという予定になったんですが、那珂市の人口の8割を移動するとしても、全然足りないという状況になってます。移動手段についても何とか普通の人はいけるかもしれないが要介護者などの避難対応は全く出来ていないというふうに言えます。

それから、日本原電そのものの問題としては、防潮堤の工事施工不良という問題もありまして、その問題は結構こずっていて、工事の何ですか、やり直しとは違って設計の一部変更みたいなことを、規制委員会に出しているようで、それがどうなるかもよく分からないという状況です。

今、避難先とか避難計画の話をしましたけど、避難が出来たとしても、もし大きな事故が起これば、とんでもない被害ですね、避難じゃなくて。被害があるということで、その可能性を考えてどう考えるかっていうのが大きな問題かと思ってます。

前の期の議会では、何とか任期中に、議会としての考えを、東海第二原発の稼働問題ですね。出そうとしてたんですが、なかなか時期が充実しないということで、意見が決まらない状態になっています。

ですので、今期はまずそれをやる必要があるかなと私は思ってます。

ついては、関連してですが、1月1日能登半島で地震がありまして、それでいろんなことが目に見えるようになりました。

まず第1に、我々は我々って、我々の社会ですね。地震に対してきちっとした予測が出来

てないということですね。

それは原発の再稼働っていうのかな。再稼働の許可基準っていうんですかね。規制基準の中では、これこれの断層はこういう風に動いて、こういうことが起きたときに、このくらいの揺れが起きるから、その揺れに対する備えをしていけばいいという一つの基準がありますが、結局そのどのくらいの揺れが起こるのかっていうのが、全然当てにならない。規制基準が出来て、ほんの僅かしかたっていないのに、能登半島に志賀原発ってあるんですが、その基準震度より大きい揺れが起きたということです。千年とか一万年に1回でも大丈夫にしなければならぬってことを考えたときに、たった数年でそんなこと起きるのは、起きるっていうか起きたことよりは、そのような基準を超えるような地震が起きちゃうような、予測し出来ないような状態っていうかね、我々の社会はそういう認識しかないということですね。というふうに幾つかの問題がありまして、原発の問題を特に東海第二原発再稼働については、再度考えていく必要があるかなと思ってます。

ついでに言っちゃいますと、視察する予算はある程度とれるんですよ。

委員長 はい。

副委員長 どこにしようかということで、去年は柏崎刈羽原発とそれから新潟県の原発対応を聞きに行ったんですが、今回は能登半島で地震があったこともあって、志賀原発とそれから周辺、それから近くでは、何だっけ。珠洲市って言いましたっけ、読み方難しい。珠洲市で原発計画があったんだけど、いろんな経緯で駄目になったらしいんですね。その辺の経緯も聞きたいなと思ってます。

これは私のちょっと考えた私案です。

以上です。

委員長 ありがとうございます。

今の話をいきますとまず、東海第二原発の9月のそれについて、見守っていく必要があるというところで、広域避難計画とか、防潮堤の不備について検証していくという案が一つ出ました。

それから、能登半島地震から学ぶべきものを、それは規制基準等をもう1回見直す必要もあるのではないかなというような話が出ましたので、ぜひそちらの能登半島のほうに視察にも行きたいというようなご意見でございました。

ほかにご意見ございますか。

渡邊委員 ただいま副委員長のお話を聞いてなんですけども、まず私は新人の議員でございますので、ぜひ東海第二原発がどういう状態なのかということも含めて、原子力発電所はどのようなかっていうのを一度レクチャーいただけるような機会をつくっていただければなど。勉強する機会ですね、私や原田委員も同じような新人ですので、もしあれでしたら、ほかの新人の議員も含めて、ご教授いただける機会が得られればというふうに思っております。

あと、視察の話も今お話いただいたので、私もちょっといろいろと考えたんですがやはり副委員長と同じように、志賀原発というのは、今回の大地震の中の被災された原発ですので、そこはぜひ見るのも一つの案かなと思ってます。

あとそれ以外には、高浜原発なんですけども、これ48年で再稼働、48年か分からないです

けども、再稼働している原発なのかなと。こちらはどのようなその経緯で原発の再稼働に至ったのか、またその避難計画等も含めて、現地で確認してくるのも一つの方法なのかなと思っております。

あと新たな原発をつくっているというところもあるのかなとというのが、島根原発もそうでしょうし、大間原発もそうでしょうし、東通原発、こちらも今新たにつくっているところもあるので、新しい基準でどういう形でつくってるのかっていうのちょっと確認するのも必要なかな。ただ再稼働と新規原発というのはちょっとスタンスが違うと思いますので、この辺はちょっと、どうかなというふうに思っているところです。ですのでもし視察先として、提案させていただくのであれば、副委員長おっしゃった、志賀原発もしくは高浜原発っていうのは、一つの案なんじゃないのかなと今ちょっと私思ったところです。

あとは新基準で合格している原発も何基かあるんですかね。東海第二原発もそこなんでしょうけども。先ほどの島根原発も高浜原発もそうだし、新潟県の刈羽原発は昨年行かれたってことなので、ここはちょっと省いてもいいのかなというふうに思っているところです。あと女川原発とかなんかもそうなんでしょうけど、というところですので高浜原発とか、志賀原発あたりが、いいのかなというふうに思っております。

あと、そうですね。すいません先ほど新人ということもありまして、福島県の原発自体も今どういう状況なってるかもわからないところですので、ここでしたら日帰りでも行けるかと思っておりますので、ちょっと視察とは別個にちょっと勉強する機会をいただければなというふうに思っております。

以上です。

委員長 ありがとうございます。

今のお話は、視察は志賀原発もしくは既に稼働している高浜原発を見学したいということと、あと地元である東海第二原発のほうに伺って説明を受けたりとか、もしくは原研のほうもうかがえることもできるかと思うんですけどもそこで、原電の考え方それから原発についてをもう一度勉強したり、もう一度じゃないですね、新人なので勉強したいということですね。

あと福島第一原発はちょっと今どういうふうに、見学が可能なのかどうかも含めてちょっと確認していただくように事務局をお願いしておきます。

副委員長 まず、東京電力は見学受付を行っているので、時期を向こうに合わせればできると思います。それから勉強会についてはむしろ私がお話ししたいくらいで、私は原発に明確に反対ですが、それにとらわれず、どういう課題だとか、いろんな経緯とかお話しして、質問とか意見交換をしたらいいかなと思ってます。むしろ私から提案しようかなと思ったところ、二人に限らず、一応全議員に呼びかけて、新人の方には特になるべく参加してもらえようというところで、呼びかけたいと思うんですが、この原子力安全対策対策委員会の仕事でやるか、ローカルな私的な勉強会をやるかは、ほかにおまかせして、進めたいと思っています。

それから東海第二原発は近くですから、特に費用なく見学出来ますよね。

それから、先ほど委員長の説明があった事業者の説明会に東海第二の日本原電もみえてますので、その場での質問も出来ます。

以上です。

委員長 今花島副委員長からありました、全議員向けの勉強会も検討したいということでしたが、議長とか議運の委員長と相談しながら、そこら辺は確認していきたいと思います。

渡邊委員からありました東海第二原発の見学というのは可能だと思いますので、それもちよっと事務局と調整しながら進められるように検討したいと思います。

ほかご意見ございますか。

笹島委員 今まで去年が柏崎刈羽原発のほうですね、行ってきました。新潟県庁と行って、有意義なんですけどまだ稼働してない。その前はどこでしたっけ、下北半島でしたね。これもまだ稼働してないということで、やっぱり東日本は稼働してないんですよやっぱりね。ですから稼働したエネルギーの今のこの不足の時代にですねどういう貢献をしていくのか。反対賛成あるかもしれないけどそれちょっと置いといてですね、やはり私が視察して行ってということで、西日本のほうですね、できれば鹿児島県のそういうところですね、地域性もあると思うんでね。川内原発、それちょっと私希望しますね。

以上です。

委員長 ありがとうございます。

鹿児島県の川内原発の視察を検討したらどうかというご意見でございました。

視察先につきましては今日ここでどこっていうふうに決定は出来ないと思いますが、候補として幾つか挙げる中で、その中で、私たちが、その立地自治体それから周辺自治体の状況も含めまして、私たちが参考になるところを検討していくっていう形をとりたいというふうに思っております。ですのでここに上がったのは志賀原発、高浜原発、川内原発ということでそれらを中心に検討を進めていきたいというふうに思います。

ほかございますか。

萩谷委員 今副委員長また渡邊委員からね、出ましたけども、あとは委員長、副委員長で、やっぱりその今出た中から、全部は行けないんですけどね。相談し合っただと事務局と相談して決めたらいいんじゃないんですか。ここでどうこうっていうわけにもいかないでしょう。

東海第二原発は、すぐ行けますからね。私は何度も行ってます笹島委員らとね。新しい人は見てみてっていうのがあるでしょうからね。東海第二原発は、それはいいんじゃないですか。

以上です。

委員長 ありがとうございます。

ほかご意見ございますか。

よろしいでしょうか。

そういったことを中心に今後原子力安全対策常任委員会のほうは進めていきたいというふうに思います。

ほかご意見なければ、これで、今日の議題は終わりになりますがよろしいでしょうか。

では今日出た意見を中心にあとは私と副委員長と、あと議長と相談をしながら進めていきたいというふうに思います。あと事務局とですね、すいません。

本日の議題はこれで全部終了いたしました。

以上で原子力安全対策常任委員会を閉会いたします。

皆様、ご苦労様でした。

閉会（午前 10 時 14 分）

令和 6 年 4 月 23 日

那珂市議会 原子力安全対策常任委員会委員長 小宅 清史